

第9回 下小岩地域 小学校統合に向けた合同会議 議事録（要旨）

【日 時】

令和4年5月17日（火） 18時30分～19時00分

【場 所】

下小岩小学校 体育館

【主な内容】

(1) 統合に係る諸課題について

両校の統合に向けて学用品、校章、校歌について優先的に検討を行っている。
他の諸課題についても統合準備委員会の中で具体的に議論を進めているので、進捗は適宜報告する。

(2) 学校統合・改築の進捗について

統合については、スケジュール通り準備を進めているところである。改築については、下小岩小の敷地内に7月下旬から仮設校舎の建設工事を計画している。仮設校舎は2階建てで、12月に完成予定である。また、既存校舎内の一部改修も行っていく。
校名案は昨年に公募後、教育委員会で協議を重ね、「下小岩小学校」と選定されている。6月の区議会に諮って決定する予定である。
校章は、新しい通学帽への印刷が必要になるため、優先して検討を進めてきた。統合準備委員会で検討後、両校長がデザインを作成し完成した。
校歌は、これまでの会議の中で卓越した専門家に依頼すべき、子供の練習期間を設けるべき等の意見を頂いており、検討を進めている。進捗については次回の会で報告する。
学用品は、新しい通学帽と名札を今年度の1～5年生に対して区から支給予定である。通学帽のサイズ調査は10月頃に実施し、来年の3月に配布ができるよう計画している。
なお、体育着や上履きなど現行品を継続して使用できるものは支給対象外となる。

(3) 統合校の在り方などについて

前年度から教育委員会の中で議論を重ね、今年度末に両校を閉校し、新校を設置することで方針が決まった。区の事例では清新ふたば小学校などがある。地域に新しい学校ができることで機運の向上が期待できるが、一方で両校の歴史を形式上は一旦区切ることとなる。校歴の考え方としては、統合校設置時となる令和5年度を統合開校年とし、そこから新しい学校の歴史を新たに刻んでいく。今まで両校が培ってきた歴史については、例えば創立年を記念誌に記載するほか、新校舎内にメモリアルコーナーを設けるなど、記録として残していくことを考えている。

【意見交換内容】

- ・統合校の在り方などについて、創立年とあるが「創立」なのか「開校」なのか迷うのでどちらかに統一してはどうか。学校によって異なるようだが、下小岩はどちらにすべきなのか。

⇒統合により新たに開校するという事で、両校の歴史があることを踏まえて今回「創立」と記載している。今後作成する記念誌などにも影響する部分であり、記載の仕方については検討していきたい。（事務局）

以上